

今回のシンポジウムでは、高性能計算機システムを日々の研究に利用される研究者、高性能計算機システムの整備・構築・運用に携わる研究者を産学官よりお迎えし、本センターのスーパーコンピューティングシステムの利用事例、および、最新の研究開発動向を踏まえつつ、わが国の発展に資するスーパーコンピューティングシステムの必要性・重要性について再考します。

タイムスケジュール

9:20	開会の挨拶(オンライン) 大阪大学 D3センター センター長・教授 降旗 大介
9:30	特別講演「AI for Science時代に問い直す大学スーパーコンピューティングの価値」 文部科学省 研究振興局 計算科学技術推進室 計算科学技術推進室長 栗原 潔
9:50	「FMO創薬コンソーシアムにおけるスパコンの活用と人材育成」 大阪大学 大学院薬学研究科 量子生命情報薬学分野 教授 福澤 薫
10:30	休憩
10:50	「理学研究を駆動するスパコン:宇宙論研究からの事例」 大阪大学 大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 宇宙進化グループ 教授 長峯 健太郎
11:30	「AI for Scienceを支援するD3センターの計算・データ基盤の現状と課題」 大阪大学 D3センター 先進高性能計算基盤システム研究部門 教授 伊達 進
12:00	昼食休憩
13:30	招待講演「タイヤ開発におけるHPC技術の活用について」 TOYO TIRE 株式会社 技術開発本部 先行技術開発部 高度専門職グループ グループ長 田中 嘉宏
14:10	基調講演「超高層大気分野におけるスパコンの活用と期待」 総合地球環境学研究所 基盤研究部 情報・企画部門 教授 深沢 圭一郎
15:00	「九州大学スーパーコンピュータシステムによる研究事例」 九州大学 情報基盤研究開発センター 先端計算科学研究部門 准教授 南里 豪志
15:40	休憩
16:20	パネルディスカッション「大学にスパコンは必要か？」 座長 大阪大学 D3センター 先進高性能計算基盤システム研究部門 准教授 高橋 慧智 パネリスト TOYO TIRE 株式会社 技術開発本部 先行技術開発部 担当リーダー 方村 知行 大阪大学 D3センター 先進高性能計算基盤システム研究部門 特任准教授(常勤) 坂倉 耕太 大阪大学 大学院薬学研究科 量子生命情報薬学分野 講師 高谷 大輔 東北大学 サイバーサイエンスセンター スーパーコンピューティング研究部 教授 滝沢 寛之 大阪大学 大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 宇宙進化グループ 教授 長峯 健太郎
18:00	レセプション



※イラスト素材は、AIで生成しています。そのため、正確でない部分がございます。

CYBER HPC SYMPOSIUM 2026

D3 CENTER
DIGITAL DESIGN, DATAABILITY, AND DECISION INTELLIGENCE

2026年3月11日(水)
9:20 ~ 17:45 (受付開始 9:05)

会場

大阪大学
D3センター本館 (吹田キャンパス)
サイバーメディアコモンズ

講演者 プロフィール



文部科学省 研究振興局 計算科学技術推進室 計算科学技術推進室長
栗原 潔

2005年文部科学省入省。文部科学省のほか、内閣府、外務省、経済産業省等において政策立案に従事し、日中韓投資協定交渉、iPS細胞研究拠点整備、AI戦略会議の設立、健康医療戦略の推進等に携わる。英国留学を経て、在インド日本国大使館一等書記官として国際科学技術協力や人材交流を推進。2024年より文部科学省研究振興局計算科学技術推進室長として、スーパーコンピュータ「富岳」の次世代となる新たなフラッグシップシステムの開発・整備や、HPCIネットワークの構築をはじめ、AI for Science時代を見据えた研究振興政策や国際協力の推進に取り組んでいる。



大阪大学 大学院薬学研究科 量子生命情報薬学分野 教授
福澤 薫

2000年立教大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学、2001年東京大学博士(工学)取得。銀行系シンクタンクの科学技術部門に勤務後、2014年日本大学松戸歯学部助教、2016年星薬科大学薬学部准教授。2020年より東北大学大学院工学研究科特任教授(兼任)、2022年より現職。民間企業時代から生体高分子の量子化学計算のための手法の開発と生命科学への応用研究に従事。2014年にFMO創薬コンソーシアムを設立し、「京」や「富岳」をはじめとするスパコン創薬プロジェクトを牽引するとともに構造生命科学研究への展開を進めている。現在、大阪大学大学院薬学研究科においてデジタル薬学の研究教育拠点を構築中。



大阪大学 大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 宇宙進化グループ 教授
長峯 健太郎

2001年プリンストン大学大学院物理学科にて博士号(物理学)を取得。2001年ハーバード大学天文学科研究員、2004年カリフォルニア大学サンディエゴ校研究員、2006年ネバダ大学ラスベガス校助教、2011年同大学准教授、2013年より現職。専門は理論宇宙物理学および宇宙論で、特に宇宙の構造形成や銀河形成の研究に取り組んでいる。スパコンを用いた大規模な宇宙論的流体シミュレーションにより、ダークマターやダークエネルギーに支配された宇宙の構造進化を、非線形領域に至るまで解明してきた。近年は、観測データと計算科学を融合したデータ駆動型の宇宙論研究にも注力し、新しい理学研究の展開を目指している。



TOYO TIRE 株式会社 技術開発本部 先行技術開発部 高度専門職グループ グループ長
田中 嘉宏

2007年3月京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科情報・生産科学専攻博士後期課程修了、博士(工学)、1992年東洋ゴム工業(現TOYO TIRE株式会社)入社、小型タイヤ開発部で乗用車用タイヤ開発業務に従事、1998年より先行技術開発部にて最適化手法、流体シミュレーション、HPC技術に関する研究に従事、2014年先行技術開発部CAEグループ長、2020年先行技術開発部部長、2025年先行技術開発部高度専門職グループ長として次世代基盤技術の研究に従事、現在に至る。



総合地球環境学研究所 基盤研究部 情報・企画部門 教授
深沢 圭一郎

2007年名古屋大学にて博士(工学)取得。2007年から2009年まで情報通信研究機構の専門研究員、2009年から2011年まで九州大学大学院理学研究院において日本学術振興会特別研究員PD、2011年から2014年まで九州大学情報基盤研究開発センターに助教として着任。2014年から2025年まで京都大学学術情報メディアセンターにて准教授、2025年より総合地球環境学研究所の教授として着任。研究分野は高性能計算(並列・高効率・省電力計算)、数値計算磁気流体力学とプラズマ物理への応用、IoT支援システム、野生馬の数値シミュレーション。

講演者 プロフィール



九州大学 情報基盤研究開発センター 先端計算科学研究部門 准教授
南里 豪志

1993年3月九州大学工学部情報工学科卒業。1995年3月九州大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1995年4月九州大学大学院工学研究科情報工学専攻進学。1996年7月九州大学大型計算機センター助手。2001年1月九州大学情報基盤センター助教。現在、九州大学情報基盤研究開発センター准教授、博士(情報科学)。高性能計算、特に並列計算の高速化技術に興味を持つ。

パネリスト プロフィール



TOYO TIRE 株式会社 技術開発本部 先行技術開発部 担当リーダー
方村 知行

2006年京都工芸繊維大学大学院工芸学部機械システム工学専攻修了。数値流体力学研究室において格子ボルツマン法を用いたCFDの研究。2006年東洋ゴム工業(現TOYO TIRE株式会社)入社、自動車部品開発部解析グループにおいてCAE(主に構造解析)を担当。2013年自動車部品開発部設計グループにてエンジンマウントの設計を担当。北米工場での技術アドバイザー駐在、エンジンマウント設計の担当リーダーを経て、2025年から先行技術開発部CAEグループ副グループ長、タイヤシミュレーションの新規手法の開発、AI活用、計算インフラ検討などに携わる。



大阪大学 大学院薬学研究科 量子生命情報薬学分野 講師
高谷 大輔

2008年4月北里大学大学院薬学研究科薬学専攻博士(薬学)。2008年5月理化学研究所生命分子システム基盤研究領域特別研究員。2020年10月から2022年5月まで理化学研究所生命機能科学研究センター研究員。2022年5月から2024年10月まで大阪大学大学院薬学研究科特任講師(常勤)。2024年11月から現在まで大阪大学大学院薬学研究科量子生命情報薬学分野講師。



東北大学 サイバーサイエンスセンター スーパーコンピューティング研究部 教授
滝沢 寛之

1999年東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻博士課程後期3年の課程修了。博士(情報科学)。2017年1月より現職。東北大学サイバーサイエンスセンターの教授/副センター長として、スーパーコンピュータAOBAの整備と運用を先導。また、同大学院情報科学研究科高性能計算論講座を主宰する教授として、高性能計算分野の基盤技術から応用までの幅広い研究および教育に従事。2024年より東北大学総長特別補佐(情報基盤担当)も兼務。